

チェーンストアの環境への取組み



2020年6月

日本チェーンストア協会の概要

1. 設立

昭和42年(1967年)8月2日

2. 目的

チェーンストアの健全な発展と普及を図ることにより、小売業の経営の改善を通じて、わが国流通機構の合理化、近代化を促進するとともに、国民生活の向上に寄与する。

3. 会員資格

○通常会員

・チェーンストアを営む小売業法人であって、11店舗以上 または年商10億円以上のもの。

・チェーンストア事業を営む小売業法人を直接の子会社に持つ持株会社。

○賛助会員

協会の趣旨に賛同し、これに協力する者。ただし、賛助会員の中から常任理事会の推薦を得る等して特別賛助会員とすることができる。

4. 会員企業数

○通常会員 56社

○特別賛助会員 20社

○賛助会員 407社

5. 会員企業売上高

12兆2,866億円(2019年度)

日本チェーンストア協会の 環境保全自主的行動計画

日本チェーンストア協会では、平成9年（1997年）1月に「チェーンストア業界の環境保全自主的行動計画」を定め、協会と会員企業が一体となって環境問題により積極的に取り組むこととしました。この計画では、3つの基本原則のもとに、「地球温暖化の防止」と「循環型社会の構築」という2つの行動の柱を立てて、各企業各店舗において可能なものから取り組むこととしています。

基本3原則

- 自らの問題として、できることから着実に実行する!
- しなければならないことを明確にした上で、責任をもって取り組む!
- 産業界・行政・お客様との連携で進める!

また、経団連の循環型社会形成自主行動計画において、業種別プラスチック関連目標を「2030年度までに、プラスチック製買物袋の辞退率80%を目指す。」と掲げています。

容器包装の簡素化・減量化

協会では、むだな包装を排除してごみとなる容器などを減量するため、容器包装の簡素化・減量化に係る要綱を昭和47年（1972年）5月に定め、自主的に包装の改善を進めて参りました。特に、プラスチックトレイについては、できる限り使用しないことを基本として、鮮度や品質保持等の問題から使用がやむやむを得ないものを具体的に例示するなどして、トレイの削減に努力してきました。このほか会員企業では、野菜や果物のばら売りの推進、リサイクル商品や詰替え商品の積極的な展開、メーカー様と協働して、軽く薄い容器の開発や使用促進などにも取り組んでいます。

「循環型経済社会の構築」に関する取り組み

主な取り組みの事例



容器の高さを低くし、重量を約20%に削減



留め具をなくし、袋を短くするなど、包装資材の重量を約50%に削減

「循環型経済社会の構築」に関する取り組み

主な取り組みの事例



上段左：各種詰め替え、再生資源利用商品

上段中：ノントレイ商品の販売の様子

上段右：トレーの素材変更

下段：店頭での野菜のばら売りの様子

店頭回収の推進

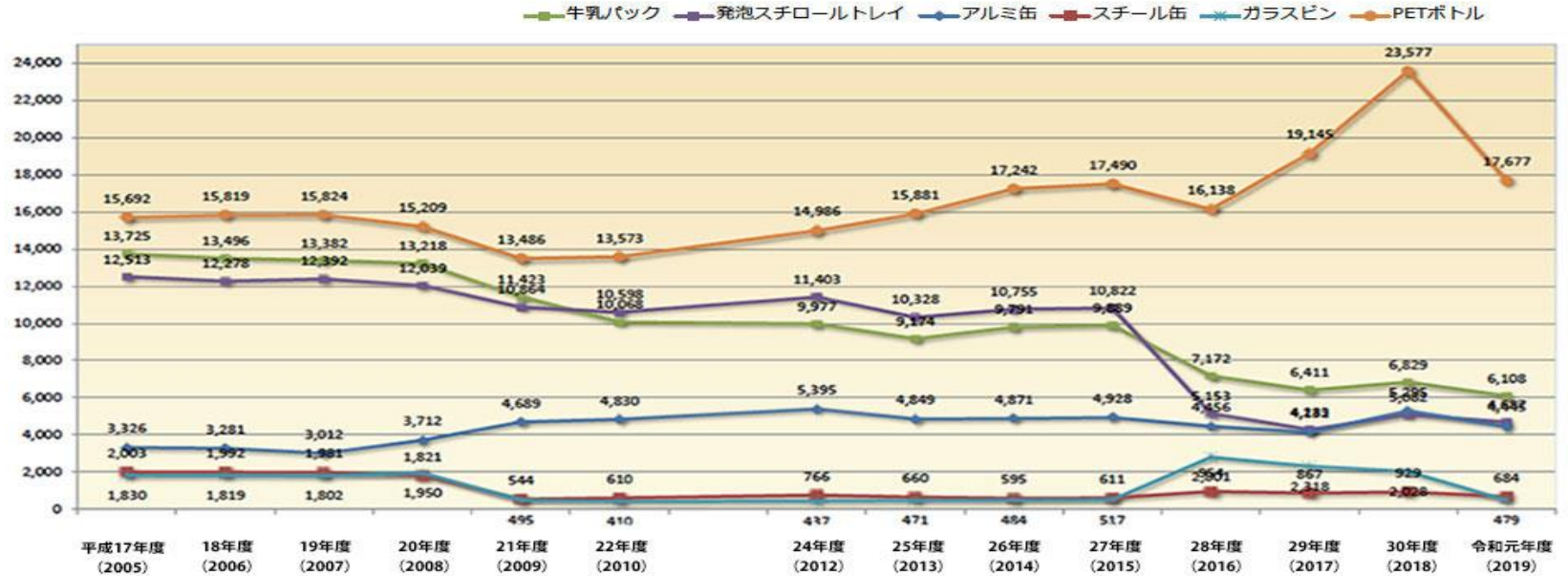
会員企業は、店舗において資源の店頭回収をしリサイクルの積極的な推進に取り組んでいます。回収された資源は、ベンチ、フラワーポット、ペン立て、制服、ハンガー、文房具、ビデオテープの外箱、トイレットペーパーなどに生まれ変わり再利用されています。



店頭回収ボックス

「循環型経済社会の構築」に関する取り組み

店頭回収量の推移



(トン)

	平成17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)
牛乳パック	13,725	13,496	13,382	13,218	11,423	10,068	9,977	9,174	9,791	9,889	7,172	6,411	6,829	6,108
発泡スチロールトレイ	12,513	12,278	12,392	12,039	10,864	10,598	11,403	10,328	10,755	10,822	5,153	4,283	5,082	4,687
アルミ缶	3,326	3,281	3,012	3,712	4,689	4,830	5,395	4,849	4,871	4,928	4,456	4,132	5,295	4,445
スチール缶	2,003	1,992	1,981	1,821	544	610	766	660	595	611	954	867	929	684
ガラスビン	1,830	1,819	1,802	1,950	495	410	437	471	484	517	2,801	2,318	2,028	479
PETボトル	15,692	15,819	15,824	15,209	13,486	13,573	14,986	15,881	17,242	17,490	16,138	19,145	23,577	17,677

「循環型経済社会の構築」に関する取り組み

主な取り組みの事例

ペットボトルのリサイクル



ペットボトルキャップのリサイクル



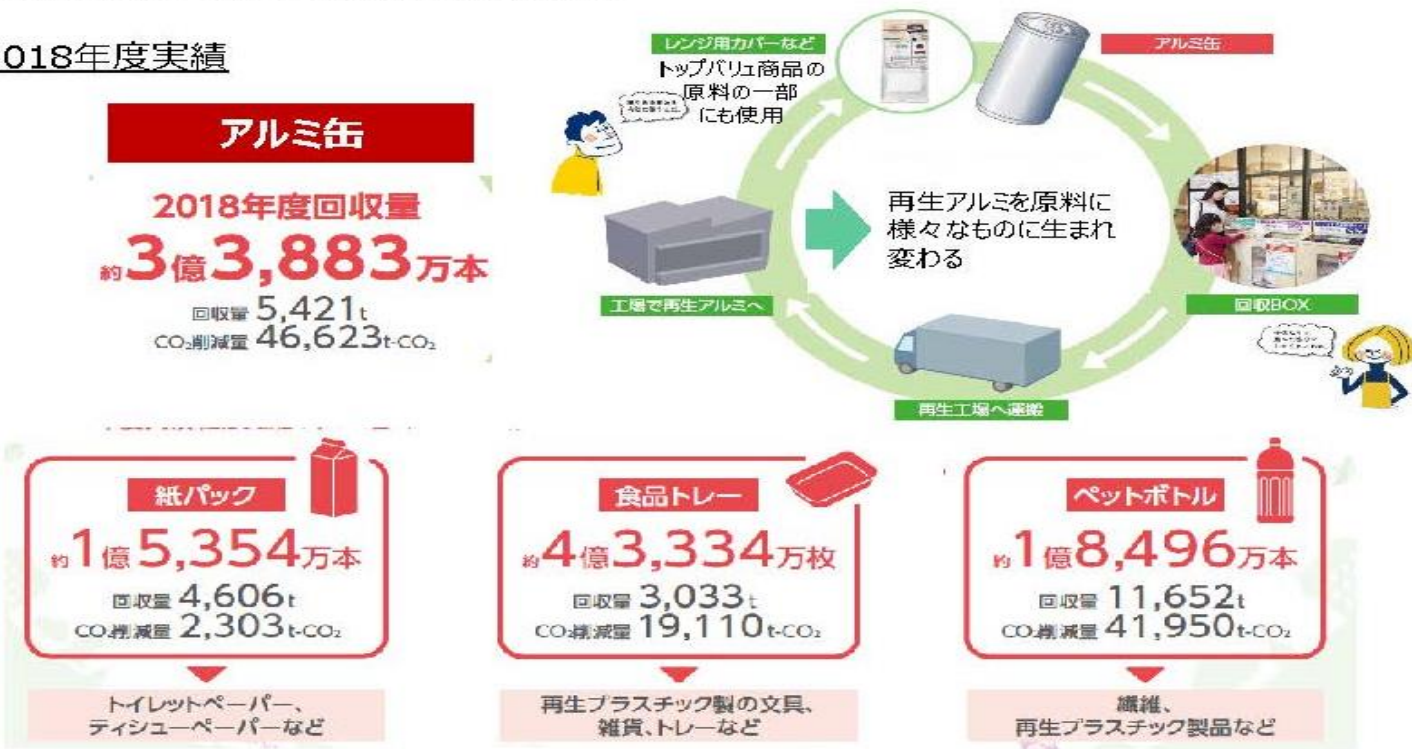
出典;ユニー(株)

「循環型経済社会の構築」に関する取り組み

主な取り組みの事例

1991年より、循環型社会を目指して、食品トレー、紙パック、アルミ缶などの回収ボックスを店頭を設置。回収したアルミ缶や食品トレーをリサイクル。その一部を、「トップバリュ」商品の原料に使用するなど、資源循環を促進。

2018年度実績



一層の店頭回収を促すに際しての問題点

- ◎ 回収ボックスへの異物混入や不分別
- ◎ 回収量増加による回収ボックスの増設及び設置場所の確保、回収頻度の変更、人員に関する問題等による回収コストの増加
- ◎ 地域においては、リサイクル業者が無い或いは契約出来ずに処理に苦慮するなどの事例
- ◎ 回収した資源の運搬に際し、自治体により解釈が異なる

皆様とともに持続可能な未来を…

ご静聴ありがとうございました



Japan Chain Stores Association

日本チェーンストア協会

<http://www.jcsa.gr.jp/>